

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本競技会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会要項及び競技注意事項によって実施する。

2 アスリートビブスについて

アスリートビブスは主催者が交付したものをユニフォームの胸と背中に正確に付ける。ただし跳躍競技者は胸か背のどちらかに付けるだけでも良い。なおトラック競技者には写真判定装置を使用するので、腰ナンバー標識と安全ピンを招集所で受取り、ランニングシューズまたは下半身の右横上部に標識のナンバーが確認できるように付けること。

3 出場競技者の招集について

- 招集は100mスタート地点後方、競技者招集所で行う。
- 招集開始時刻・完了時刻は、競技開始時刻を基準とする。

種目	招集開始	招集完了
トラック	40分前	30分前
フィールド	40分前	30分前

出場競技者は招集時間を厳守。招集完了時刻に遅れた場合は、棄権したものとみなす。

尚、競技開始前 現地で最終確認を行う。

- 招集所では競技者がユニフォームにアスリートビブスを付け本人確認を受ける。なおトラック競技者は腰ナンバー標識と安全ピンを受取り、上記2の要領で腰ナンバーを所定の位置に付ける。
- 出場する競技が他種目と時間が重なる場合は、必ず事前に競技者係に申し出をする。また出場を棄権する場合には、本人あるいは代理の者が競技者係に必ず申し出する事。
- リレー競技に出場するチームは、**各種目招集完了時刻の1時間前まで**にオーダー用紙を競技者係に提出すること。リレーオーダー用紙は、招集所に備えてある。
- リレーオーダー用紙提出後はメンバー、走順の変更は出来ない。

4 競技について

- トラック競技は各種目タイムレース決勝で行う。予選は行わない。
- トラック競技の走路順とフィールド競技の試技順はプログラム記載通りとする。なおトラック競技で棄権があった場合はそのレーンを空けて行う。
- 中学生男子、女子の走幅跳び及び砲丸投げの試技は3回とする。
- 400mまでのトラック競技（リレー第1走者を含む）は、スターティングブロックを使用する。
- 中学生女子800mのスタートはオープンレーンで行う。
- 5000mにおいて1周以上の遅れが出た場合、競技進行上、競技者の安全確保等の理由により審判長の判断で失格の指示を行うことがある。
- 競技に使用する用器具は、競技場備品及び主催者が用意した物を使用する。
- スタート（スターターのコール）はすべてイングリッシュコール（英語）で行う。

『位置について』	『用意』	(号砲)	やり直し『立ちましょう』
↓	↓		↓
『オン ユア マークス』	『セット』		『スタンド アップ』

- スタート時、1度の不正スタートでも責任を有する競技者は、スターターにより失格させられる。
- 写真判定装置の不具合でトラブルが発生した場合は再レースを行う。

⑪ 競技用靴について（競技に使用する靴）

- ・本競技場は全天候舗装の為、スパイクのピンは全天候舗装用で9mmを超えないものとする。ただし走り高跳びの場合は12mmを超えないものとする。
- ・靴底の最大の厚さは以下の通りでなくてはならない。

トラック種目：800m未満 20mm トラック種目：800m以上 25mm

フィールド種目：20mm

日本陸連 競技規則 TR5.2 及び「競技用靴に関する規則」に準ずる。

5 ウォーミングアップについて

ウォーミングアップは競技場内で行うこと。競技場外、公園回りでは禁止する。トラックの使用時間は8時45分までとする。100m、100mH、110mHの競技中については、審判員の指示のもとにバックストレートを使用して練習が行える。

フィールド競技のウォーミングアップは競技開始前に行う。各競技場所で競技役員の指示に従うこと。

すべての競技者は指定された場所、時間の範囲内で事故防止に努めながら万全を期して行う。

6 表彰について

- ① 表彰式は行わない。賞状を大会本部に用意するので、3位までに入賞した競技者は大会本部で賞状を受け取ること。
- ② 中学生の部は男子、女子各1名を優秀選手として表彰する。

7 その他

- ① 大会当日の記録速報は、QRコードから携帯電話、スマートフォンで見ることが出来る。なお記録証（1競技1部¥300）が必要な場合、10：00～15：00までに大会本部に申し出ること。
- ② 競技中の事故については、主催者で応急処置をするが、その後の責任は負わないので注意する。
- ③ 貴重品や衣類の管理は各自で行い、盗難防止に注意する。
- ④ ゴミ類は、必ず各自で持ち帰る。
- ⑤ 秋留台公園陸上競技場、駐車場は17：00に閉場する。

